

平成 27 年度事業報告

公益財団法人鈴木万平糖尿病財団は、「糖尿病分野に関する研究者の国際的研究交流を助成し、あわせて我が国における同分野の研究者の育成を図ることにより、糖尿病学研究の一層の推進を図り、もって学術の向上発展に寄与する」ことを目的として、平成 27 年度（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）において、定款第 4 条に定める事業を実施した。

当該期間における次に掲げる事業は、基本財産及び特定資産の運用益等並びに特定資産の取り崩しにより実施した。

1. 定款に定める公益目的事業

助成事業（公 1）	(1) 糖尿病の研究に従事する研究者の海外留学に対する助成 (2) 糖尿病の研究に従事する外国人研究者の招聘に対する助成 (3) 糖尿病に関する会議・シンポジウムに対する助成 (4) 糖尿病に関する調査研究に対する助成
褒賞事業（公 2）	糖尿病の予防・治療等における国内の優れた業績に対する褒賞
褒賞事業（公 3）	糖尿病に関する国内外の優秀な研究実績に対する褒賞

2. 平成 27 年度公益目的事業

(1) 助成事業（公 1）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
選考委員会 平成 26 年 10 月 20 日 (東京會館)	1. 平成 27 年度助成候補の選考 (1) 海外留学助成 6 名 (2) 外国人研究者招聘助成 1 件 (3) 会議・シンポジウム助成 5 件 (4) 調査研究助成Ⅱ 2 件 2. 調査研究助成Ⅰ、Ⅱ継続の可否	1. 海外留学 5 名、会議・シンポジウム 5 件、調査研究Ⅱ 2 件を選定し、海外留学助成候補者は面接選考に、それ以外の助成候補は理事会に諮ることとなった（外国人研究者招聘助成は応募なし） 2. 調査研究助成Ⅰは継続、調査研究助成Ⅱのうち平成 25 年度分については 1 件を継続、1 件を否と判定し、理事会に諮ることとなった（平成 26 年度分については、調査研究期間が 1 年のため助成終了）
面接選考 平成 26 年 11 月 25 日 (日本橋ビル)	平成 27 年度海外留学助成候補者の面接選考	各候補者の資質・学識及び語学力につき面接審査を行ったところ、最終的には 5 名とも適格と判定し、理事会に諮ることとなった

(2) 褒賞事業（公2）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
国内褒賞審査委員会 平成 26 年 9 月 30 日 (霞山会館)	平成 27 年度（第 8 回）糖尿病療養指導 鈴木万平賞受賞候補の選考	推薦 5 件の中から 3 件を受賞候補として、理事会に諮ることとなった

(3) 褒賞事業（公3）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
国際褒賞審査委員会 平成 27 年 7 月 27 日 (帝国ホテル)	平成 27 年度（第 8 回）鈴木万平記念 糖尿病国際賞受賞候補者の選考	推薦 10 名の中から受賞候補者を選定し、理事会に諮ることとなった

(4) 公益目的事業に係わる議案の理事会における承認

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
平成 26 年度第 1 回 平成 26 年 6 月 2 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 27 年度助成事業（募集要領） の件 (1) 海外留学助成 6 名 (2) 外国人研究者招聘助成 1 件 (3) 会議・シンポジウム助成 5 件 (4) 調査研究助成Ⅱ 2 件 2. 選考委員選任の件	1. 原案のとおり承認された 2. 新任の谷澤幸生委員以外の全委員の重任が承認された
平成 26 年度第 2 回 平成 26 年 12 月 1 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 27 年度助成事業（助成対象） の件 (1) 海外留学助成 5 名 (2) 外国人研究者招聘助成 0 件 (3) 会議・シンポジウム助成 5 件 (4) 調査研究助成Ⅱ 2 件 2. 平成 27 年度（第 8 回）国内褒賞 事業の件 3. 平成 27 年度事業計画及び収支予算 (案) の件	1. 原案のとおり承認された 併せて、調査研究助成Ⅱのうち平成 25 年度分 1 件の継続を否とするこ とを含め助成継続の可否について も承認された 2. 原案のとおり承認された 3. 原案のとおり承認された
平成 27 年度第 2 回 平成 27 年 12 月 9 日 (パレスホテル東京)	平成 27 年度（第 8 回）国際褒賞事業の 件	原案のとおり承認された

(5) 公益目的事業の概要

公益目的事業	金額	内容
助成事業		
海外留学助成 1.	20,000,000 円	平成 27 年度新規 (@400 万円×5 名)
同上 2.	24,000,000 円	平成 26 年度継続 (@400 万円×6 名)
小計	44,000,000 円	
外国人研究者招聘助成	0 円	@100 万円×0 件
会議・シンポジウム助成	5,000,000 円	@100 万円×5 件
調査研究助成		
調査研究助成 I	15,000,000 円	平成 23 年度継続 (@1,500 万円×1 件)
調査研究助成 II 1.	5,000,000 円	平成 27 年度新規 (@250 万円×2 件)
同上 2.	0 円	平成 26 年度継続 (@250 万円×0 件)
同上 3.	2,500,000 円	平成 25 年度継続 (@250 万円×1 件)
小計	22,500,000 円	
選考委員会	1,816,870 円	開催関係費用
合計	73,316,870 円	
褒賞事業 (国内褒賞)		
第 8 回糖尿病療養指導鈴木万平賞	9,283,068 円	正賞楯、副賞、記念品
	1,932,394 円	表彰式関係費用
	618,840 円	広告関係費用
小計	11,834,302 円	
国内褒賞審査委員会	861,490 円	開催関係費用
合計	12,695,792 円	
褒賞事業 (国際褒賞)		
第 8 回鈴木万平記念糖尿病国際賞	17,626,080 円	正賞楯、副賞、記念品
	8,050,474 円	表彰式関係費用
	3,034,402 円	広告関係費用
	3,240,000 円	業務委託費
小計	31,959,956 円	
国際褒賞審査委員会	3,135,381 円	開催関係費用
合計	35,086,337 円	
総計	121,098,999 円	

各公益目的事業の詳細は、附属明細書のとおりである。

3. その他

(1) 平成 28 年度助成事業（公 1）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
選考委員会 平成 27 年 10 月 22 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 28 年度助成候補の選考 (1) 海外留学助成 6 名 (2) 外国人研究者招聘助成 1 件 (3) 会議・シンポジウム助成 5 件 (4) 調査研究助成 3 件 2. 調査研究助成Ⅱ継続の可否	1. 海外留学 6 名、外国人研究者招聘 1 件、会議・シンポジウム 3 件、調査研究 3 件を選定し、海外留学助成候補者は面接選考に、それ以外の助成候補は理事会に諮ることとなった 2. 平成 27 年度調査研究助成Ⅱ2 件のうち 1 件は、未だ研究を開始していないこと、また助成金の使途についても疑義があることから報告書等の再提出を要請し、改善が認められなければ平成 29 年度の助成は打ち切ることと決定した
面接選考 平成 27 年 11 月 13 日 (日本橋ビル)	平成 28 年度海外留学助成候補者の面接選考	各候補者の資質・学識及び語学力につき面接審査を行ったところ、最終的には 6 名とも適格と判定し、理事会に諮ることとなった

(2) 平成 28 年度国内褒賞事業（公 2）の選考

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
国内褒賞審査委員会 平成 27 年 10 月 20 日 (霞山会館)	平成 28 年度（第 9 回）糖尿病療養指導鈴木万平賞受賞候補の選考	推薦 5 件の中から 3 件を受賞候補として、理事会に諮ることとなった

(3) 平成 28 年度公益目的事業に係わる議案の理事会における承認

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
平成 27 年度第 1 回 平成 27 年 5 月 25 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 28 年度公益目的事業の件 (1) 助成事業 ①海外留学助成 6 名 ②外国人研究者招聘助成 1 件 ③会議・シンポジウム助成 5 件 ④調査研究助成 3 件 (2) 国内褒賞事業 3 件 (3) 国際褒賞事業 1 名 2. 選考委員選任の件	1. 助成事業のうち調査研究助成Ⅰは本年度を以って終了とし、平成 28 年度より調査研究助成Ⅱと統合し調査研究助成として 3 件募集することとなったが、それ以外の助成事業並びに褒賞事業は原案のとおり承認された 2. 谷澤幸生委員の重任が承認され、任期は他の現任者の残任期間とすることとなった

開催年月日・場所	議 事	会議の結果
平成 27 年度第 2 回 平成 27 年 12 月 9 日 (パレスホテル東京)	1. 平成 28 年度助成事業の件 (1) 海外留学助成 6 名 (2) 外国人研究者招聘助成 1 件 (3) 会議・シンポジウム助成 3 件 (4) 調査研究助成 3 件 2. 平成 28 年度 (第 9 回) 国内褒賞 事業の件 3. 平成 28 年度事業計画及び収支予算 (案) の件 4. 国内褒賞審査委員選任の件 5. 国際褒賞審査委員選任の件	1. 原案のとおり承認された 併せて、調査研究助成Ⅱの助成継続 ついても原案のとおり承認された 2. 原案のとおり承認された 3. 原案のとおり承認された 4. 原案のとおり承認された 5. 原案のとおり承認された

附属明細書

海外留学助成 - 1 (平成 27 年度新規分 5 名)

氏名・所属	研究課題・研究項目・研究機関・研究指導者・助成期間
<p style="text-align: center;">横溝 久 よこみぞ ひさし</p> <p>九州大学大学院 医学研究院 病態制御内科学</p>	<p>研究課題： 長期生存 1 型糖尿病患者検体を用いた糖尿病血管合併症保護効果を示す分子の同定と糖尿病腎症の新規治療法の開発</p> <p>研究項目： 糖尿病血管合併症保護効果を示す分子の同定</p> <p>研究機関： Joslin Diabetes Center, Harvard Medical School</p> <p>研究指導者： Professor George L. King</p> <p>助成期間： 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日</p>
<p style="text-align: center;">細川 裕之 ほそがわ ひろゆき</p> <p>千葉大学大学院 医学研究院 免疫発生学</p>	<p>研究課題： 脂肪組織に慢性炎症を惹起する CD4 および CD8T 細胞の分化と機能制御メカニズムの解明</p> <p>研究項目： 細胞分子生物学、生化学</p> <p>研究機関： California Institute of Technology</p> <p>研究指導者： Professor Ellen Rothenberg</p> <p>助成期間： 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日</p>
<p style="text-align: center;">酒井 真志人 さかい ましひと</p> <p>国立国際医療研究 センター研究所 糖尿病研究センター 分子代謝制御研究部</p>	<p>研究課題： 糖尿病、動脈硬化の病態形成におけるマクロファージの機能解析と治療標的の同定</p> <p>研究項目： ① マクロファージのエンハンサー機能異常の解明 ② eRNA の作用機序の解明</p> <p>研究機関： University of California, San Diego</p> <p>研究指導者： Professor Christopher K. Glass</p> <p>助成期間： 自 平成 28 年 3 月 1 日 至 平成 30 年 2 月 28 日</p>
<p style="text-align: center;">駒田 敬則 こまだ けいのり</p> <p>自治医科大学 腎臓内科</p>	<p>研究課題： 糖尿病性腎症における腎 Nod 様受容体の役割の解明</p> <p>研究項目： 糖尿病性腎症に関する動物実験、細胞実験、トランスレーショナル研究</p> <p>研究機関： Snyder Institute for Chronic Diseases, University of Calgary</p> <p>研究指導者： Professor Daniel A. Muruve</p> <p>助成期間： 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日</p>
<p style="text-align: center;">池田 賢司 いけだ けんじ</p> <p>東京医科歯科大学 医歯学総合研究科 分子内分泌代謝学 分野</p>	<p>研究課題： ベージュ脂肪細胞を介した脂肪組織炎症およびインスリン抵抗性の改善効果と作用機序</p> <p>研究項目： ベージュ脂肪細胞の分化制御機構の同定、ベージュ脂肪細胞の脂肪組織炎症ならびにインスリン感受性への影響</p> <p>研究機関： University of California, San Diego</p> <p>研究指導者： Assistant Professor Singo Kajimura</p> <p>助成期間： 自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日</p>

海外留学助成 - 2 (平成 26 年度継続分 6 名)

氏名・所属	研究課題・研究項目・研究機関・研究指導者・助成期間
<p>ふくしま あらた 福島 新 北海道大学大学院 医学研究科 循環病態内科学</p>	<p>研究課題： 慢性心不全のインスリン抵抗性および腎機能障害における（プロ）レニン受容体の役割に関する研究 研究項目： 慢性心不全、インスリン抵抗性、腎機能障害 研究機関： University of Alberta 研究指導者： Professor Gary D. Lopaschuk 助成期間： 自 平成 26 年 9 月 1 日 至 平成 28 年 8 月 31 日</p>
<p>よこやま まさたか 横山 真隆 千葉大学大学院 医学研究院 循環器内科学</p>	<p>研究課題： 糖尿病における骨髄血管内皮細胞が担う造血幹細胞制御 研究項目： 糖尿病での造血幹細胞の分化・機能変化に骨髄血管性ニッチの性質変化がどう関わるかを解析する 研究機関： Weill Cornell Medical College 研究指導者： Professor & Director Shahin Rafii 助成期間： 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日</p>
<p>きたじま ひでとし 北島 秀俊 九州大学大学院 医学研究院 病態制御内科学</p>	<p>研究課題： 2 型糖尿病の遺伝子研究 研究項目： 世界中の様々な民族集団で行われた 2 型糖尿病の全ゲノム関連解析を統合する大規模なメタアナリシス 研究機関： University of Oxford 研究指導者： Professor Mark McCarthy 助成期間： 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日</p>
<p>さいとう としのぶ 齋藤 俊信 自治医科大学 循環器内科</p>	<p>研究課題： 分子イメージングによる動脈硬化および動脈瘤における血管炎症および血管新生の同定 研究項目： 1. 動脈硬化および動脈瘤モデルの作製 2. 血管炎症および血管新生標的分子の同定 研究機関： Stanford University 研究指導者： Professor Michael V. McConnell 助成期間： 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日</p>
<p>たぐち あきひこ 田口 昭彦 山口大学 医学部 地域医療推進学講座</p>	<p>研究課題： 膵β細胞の機能調節に関する概日リズムネットワークの解明 研究項目： 膵β細胞が時計遺伝子の異常によってインスリン分泌不全に至るメカニズムの解析 研究機関： Northwestern University 研究指導者： Professor Joseph T. Bass 助成期間： 自 平成 26 年 7 月 1 日 至 平成 28 年 6 月 30 日</p>

氏名・所属	研究課題・研究項目・研究機関・研究指導者・助成期間
はら たかふみ 原 貴史 京都大学大学院 医学研究科 附属ゲノム医学 センター	研究課題： 糖尿病・肥満に伴う炎症応答における脂肪酸受容体の分子機序の解明 研究項目： ・免疫細胞における脂肪酸受容体ファミリーの生理機能を解明する ・糖尿病や肥満で生じる免疫応答との関連を明らかとする ・新たな治療ターゲットとしての有用性を示す 研究機関： Stanford University 研究指導者： Professor Eugene Buther 助成期間： 自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日

外国人研究者招聘助成（平成 27 年度 0 件）

応募なし

会議・シンポジウム助成（平成 27 年度 5 件）

会合名・開催日・場所	責任者	参加人数	主催
第 31 回日本糖尿病・妊娠学会 年次学術集会 平成 27 年 11 月 20 日～21 日 リーガロイヤルホテル東京 （新宿区）	東京女子医科大学 糖尿病センター センター長 内潟 安子	605 名	日本糖尿病・妊娠学会
第 30 回日本糖尿病・肥満動物学会 年次学術集会 平成 28 年 3 月 11 日～12 日 大宮ソニックシティ （さいたま市）	横浜市立大学大学院医学研究科 分子内分泌・糖尿病内科学 教授 寺内 康夫	211 名	日本糖尿病・肥満動物学会
第 13 回 1 型糖尿病研究会 平成 27 年 10 月 31 日～11 月 1 日 TKP ガーデンシティ PREMIUM 神保町（千代田区）	東京女子医科大学 東医療センター小児科 教授 杉原 茂孝	185 名	1 型糖尿病研究会
第 2 回日韓糖尿病フォーラム 平成 27 年 5 月 21 日～22 日 海峡メッセ下関（下関市）	山口大学大学院医学系研究科 病態制御内科学分野 教授 谷澤 幸生	183 名	日本糖尿病学会

会合名・開催日・場所	責任者	参加人数	主催
キーストンシンポジウム 糖尿病：新しい分子メカニズムと 治療戦略 平成 27 年 10 月 25 日～29 日 ウェスティン都ホテル京都 (京都市)	東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科 教授 門脇 孝	438 名	キーストンシンポジウム

調査研究助成 I (平成 23 年度継続分 1 件)

研究施設・責任者	研究タイトル・助成期間
関西電力病院 病院長 清野 裕	研究タイトル： アジア西太平洋地域途上国における IDF-WPR 認定糖尿病足病変治療センター (IDF-WPR designated Diabetic Foot Center) の設立支援に関する研究 助成期間： 自 平成 23 年 4 月 至 平成 28 年 3 月 (5 年間)

調査研究助成 II - 1 (平成 27 年度新規分 2 件)

研究施設・責任者	研究タイトル・助成期間
大阪大学大学院 助教 西田 健太郎	研究タイトル： 重症糖尿病網膜症に対する包括的治療の開発と実践 助成期間： 自 平成 27 年 4 月 至 平成 30 年 3 月 (3 年間)
順天堂大学大学院 助教 三田 智也	研究タイトル： 2 型糖尿病患者の生活パターンと予後・臓器障害・代謝との関連性のコホート調査 助成期間： 自 平成 27 年 4 月 至 平成 30 年 3 月 (3 年間)

調査研究助成 II - 3 (平成 25 年度継続分 1 件)

研究施設・責任者	研究タイトル・助成期間
国立成育医療研究センター 研究員 綾部 匡之	研究タイトル： 1 型糖尿病の好発年齢と関連する遺伝子多型、遺伝子変異の同定と機能解明 助成期間： 自 平成 25 年 4 月 至 平成 28 年 3 月 (3 年間)

平成 27 年度（第 8 回）糖尿病療養指導鈴木万平賞

平成 27 年 10 月 20 日に霞山会館（東京都千代田区）において表彰式及び記念パーティーを開催した。

受賞	推薦者	主な業績
武田 倬	日本糖尿病協会 理事 内潟 安子	・小児糖尿病サマーキャンプ開始と「大山家族」への発展 ・日本糖尿病協会の小児糖尿病療養対策を長年牽引されたこと ・1990 年から継続した隠岐郡海士町での糖尿病対策事業への尽力
中村 伸枝	日本糖尿病教育・看護学会 理事 黒田 久美子	糖尿病の子供の健やかな成長・発達・経験の積み重ねを重視した療養支援
山田 幸男	日本糖尿病学会 日本病態栄養学会 理事 宇都宮 一典	糖尿病の中途視覚障害者を対象とした幅広いロービジョンケアの実践

平成 27 年度（第 8 回）鈴木万平記念糖尿病国際賞

平成 28 年 3 月 3 日に経団連会館（東京都千代田区）において表彰式・記念講演会及び記念パーティーを開催した。

受賞者	推薦者	主な業績
Takashi Kadowaki, MD Professor and Chairman Department of Diabetes and Metabolic Diseases The University of Tokyo	Domenico Accili, MD Professor of Medicine and Director Diabetes Research Center Columbia University	2 型糖尿病とインスリン抵抗性の分子レベルでの解明に役立つ長年にわたる広範囲で画期的な貢献により、数々の金字塔となる発見をされたことが高く評価された